

教育目標

1. 教育目標

「健康で豊かな知性と感性を身につけ、心身共にたくましい子どもを育てる」

校訓 ———— 希望 誠実 健康 ————

2. めざす学校像

- ①いつもきれいで、明るい学校
- ②協力し合い、みがき合う学校
- ③地域に親しまれ、信頼される学校
- ④営みを発信していける学校

3. めざす子ども像と実践のめあて

- ①基本的な生活習慣を身につけた子ども
➡あいさつやはきものの整頓ができる
- ②明るく健康的でユーモアのある子ども
➡自分を大切にする
- ③想像力を働かせ、やさしく思いやりのある子ども
➡なかよく助け合う
- ④動植物への関心と季節感をもった子ども
➡季節の移ろいに関心を持ち、生命や物を大切にする
- ⑤よく学び、働く子ども
➡進んで体を動かし、体感を通して学習する

4. 生きる力の育成にともなう努力点

(1) 確かな学力をはぐくむために

- ・一人一人の教職員が、創意工夫をし、特色ある教育活動を展開するなかで、自ら問題意識を持ち、考える力をはぐくむとともに、基礎的・基本的な内容の確実な定着ができるような実践をし、子どもの力を十分に発揮させられるような学習指導を展開していく。
- ・生活科・総合的な学習の授業を年間指導計画表や昨年度の取り組みを参考にして幅広く実践する。その指導過程・成果（評価）・課題を本年度もファイルし、今後の実践に活かす。
- ・確かな学力をはぐくむための中心として国語科における活動目標を発展・深化させ、子どもたちが国語の学習に自信と喜びを持ち、高まりが生まれるような研究をさらに進めていく。

(2) 本年度の努力点について

①学習指導法の研究を行う。

国語科を中心とした研究を行う。

子どもの実態を見据えた指導内容の系統性についてや、伝え合う力を高めるための適切な手立てや、学習と一体化した評価についても研究を進めていく。

②基礎学力・生きる力の向上をはかる。

子どもたちは誠実で穏やか、決められたことはきちんと守り、よく学び、よく働くが、ややひ弱で創造性に欠け、指示待ちの傾向がみられる。今後、総合的な学習や児童会・学級活動を通じて自主的でたくましい児童を育成していく。

さらに、県学力診断テストの分析から、算数科の学力も向上しつつある。算数科の学習の向上をはじめ、学習意欲をもたせながら、学力の向上をはかっている。日々の授業の場で、一人一人の可能性を見出し、よく分かる授業を組み立てることは勿論、少人数による授業方法や、その成果について常に研修を重ねていく。

また、基礎学力の定着を図るため、「学力補充」「読書タイム」の時間を設け、指導するとともに、授業時間をきちんと確保していく。

子ども同士のふれあいや体力向上のため、昼休憩の時間を多くとり、教職員も出来得る限り遊び等に加わり、様々な場面における子どもの実態を把握していく。

③恵まれた学習環境を教科学習や生活に有機的に結合させる。

総合的な学習や社会科・理科・生活科等を通じて、子どもたちに浜宮の自然・文化・人材等、身近に存在する学習問題を再発見させ、親しませ深く追求させることによって、自分たちの足元を見つめ、故郷を愛し、さらに創造性を働かせていける子どもを育てていく。

また、学校内の樹木や花に関心をもたせるための手立てとして「学年の木」とのふれあい、「探索マップ」「ゲストティーチャーネットワークの拡大」等があげられる。日頃の授業に効果的に活用していく。

④人権・特別支援・道徳教育を推進する。

21世紀は「人間の世紀」といわれている。人間と自然の共存、また、同和問題をはじめとする人権問題について私たち教職員がまず心を研ぎすませ、学級経営、授業、特別活動、道徳等、あらゆる場で子どもたちの人権意識の高揚をはかるとともに、豊かな心をはぐくんでいく。

また、児童の個性を認めあい特性を伸ばすとともに仲間の喜びを自分の喜びにでき、相手を尊重する態度を育てる。

⑤環境美化・健康教育の充実をはかる。

清掃活動に力を入れ、働く喜びを養い、校内外の美化に努めるとともに栽培委員会を中心として、季節の草花の栽培を活発に行う。

学校保健・安全委員会の協力を得ながら禁煙教育の推進等、児童の望ましい健康生活の高まりへと結びつける効果的な学習指導を展開していく。

全校生徒対象に新スポーツテストを実施し、自ら運動に親しみ、豊かで楽しい運動経験が得られるような指導を進める。

⑥安全指導の徹底をはかる。

保護者から預かったかけがえのない命を守っていくことを何よりも優先しなくてはならない。学校危機マニュアルに基づき、不審者侵入への対応・下校時における見守りやパトロール活動等を通し、常に子どもが安心して通える学校を目指す。

また、毎月の浜宮小学校安全の日を契機として、「安全点検の会」の定期開催、本校独自の「安全カード」による点検、児童会が主体となつての安全に関心をもたせる取り組みを行う。

「チャイムですぐ子どものもとに」を教職員の合い言葉にする。

⑦情報機器の扱いに慣れ、指導に生かす。

教職員が機器の操作や指導方法の研修を積み、積極的にコンピューター等の情報機器を取り入れた授業を工夫する。その際、コンピュータリテラシーやマナー等も同時に身につけさせたい。

育友会の助成のもと、図書の実用性を高めるとともに、ボランティアをつのり図書館教育を推進し、読書の指導を積極的に行う。

⑧地域に親しまれ、信頼される学校にする。

こちらが胸襟を開いた分だけ、地域の保護者もそれに答えてくれる。

安全の面のこともあるが、地域の人たちに学校への出入りをさせていただけるようにしたい。そのために地域・学校ふれあいゾーンをさらに整備・充実、屋外学校掲示板の設置、行事への参加の呼び掛け等により、学校教育への関心を高めていただき、総合的な学習等を積極的に協力・支援して下さる方（ゲストティーチャー）を増やしていく。

休業土曜日には、子どもの活動の選択肢の一つとして、小学校区子どもセンター事業を実施している。そこでは、保護者による運営委員を中心に自然・社会体験活動や土曜チャレンジスクールでの学習活動を行い、充実した休業日の様々な取り組みを推し進めていく。

また、各種学校広報誌の配布をさらに拡大し、学校の情報を公開するとともに学校評議員会等を開催し、新教育課程等の理解を求めるとともに、学校に対する建設的な意見が言えるような環境を整える。

学校を開放し、保護者は勿論、地域の方々が学校の営みの一端を参観したり、参加したりしていただくような期間を設定する。

5. 教職員のかまえ

端的にいうと学校勤務の心構えは、「自分の家だったら」であり、児童の指導の心構えは「そばに親が居たら」であると思う。私たちは全体の奉仕者としての自覚を片時も忘れてはならない。お互いが伝え合い、まごころのこもった手づくりの教育が今、あらためて求められ、その行動や実践が光るときである。

- ① 教育公務員としての自覚をもち、教育愛に徹し、児童や保護者の信頼に応える。
- ② 教師一人一人が確かな教育観と共に常に問題意識を持って、生涯教育を目指した教材や指導法の研究に努める。
- ③ 学校は組織体であり、その成員である教職員は、それぞれの力量、経験、個性、アイデアを出し合い、力を合わせて教育の向上をはかる。
- ④ 情報の発信基地を児童に置き、児童の言葉や動きを鋭く捉え、深い愛情をもって、公正かつ確かな指導をする。
- ⑤ 児童の一人一人の個性を生かし、その可能性を伸長できるよう、児童を深く理解する。
- ⑥ 児童の自主性と創造性に即し、落ち着いた中にも生氣あふれる学級経営に努める。
- ⑦ 教師自らが、生命の尊厳と自然の偉大さを謙虚に受けとめ、その精神を日常の指導の中に生かすように努める。
- ⑧ 常に家庭と緊密な連絡をとり、相互の信頼と理解を深め、学校と家庭が一体となって教育の成果をあげる。
- ⑨ 地域社会の教育力について関心を深め、学習に取り入れるように努める。

日々大切にしたいこと

○大切にしたいこと

- ・安全管理、健康管理の徹底
- ・人権尊重
- ・心を豊かにする
 - 人との交流を大切に
 - 温かい理解を
 - 弱い立場の子への配慮
 - 自然との触れあいと感動を大切に
 - 人のために役立つ経験をする
- ・楽しくわかる授業
 - 自ら学ぶ姿勢をつける
 - 一人一人の良さを生かす
 - 目の前の課題に対応できる力を

過程を大切に

- 待つ姿勢、助言と支援のタイミング
- ・われ以外すべてわが師（謙虚）
 - 子どもに学ぶ
 - 子どもに要求することは自分もする
 - 親の願いがわかる
 - 迅速な対応
 - 公正に
 - 秘密を守る
- ・すべては学級経営にあり
 - 一人ひとりを生かす
 - 子どもを知る努力を
 - 子どもの小さな変化が見える教師に

「子ども理解」の基本

は 花のように 美しく
ま まっすぐ 素直に
の 伸びゆく 子らを
み みんなで 守り 育もう
や やさしくするとは
し 叱ることより 憂うこと
よ 喜び 誉めて
う 疑わず 信じてやろう

が 我慢 重ねて
っ 突き離さずに
こ 心通わせ 声かけ合って
う 倦まず 弛まず つながり深く